



1. ものづくりを安全に進めるには 2. 「ものづくり」について

～ 設計・製造・開発から「ものづくり」のポイント ～

開催日時 8月26日(金) 3限 (PM1:10～2:40)

クリエでは、プロジェクト活動の推進の為、学生自身が工作機械を使つての金属加工等が自由に行えるように、ライセンス講習制度を設けて、各種工作機械の使い方を習得できる教育環境を整備しています。しかし、ものづくりを安全に進めるには、各工作機械の特徴を知り、それぞれの加工に適した機械や工具を選択することはもちろんのことですが、さらに十分な経験が必要です。

学校教育の現場で長年、工作機械によるものづくりの指導をされてきた藪下先生に、過去の事例から、どのような危険が潜んでいるかを実例で示して頂き、安全に作業を進めるためのノウハウの数々を教授願いたいと考えます。



藪下先生のプロフィール

大学卒業後 企業で産業機械・産業ロボットの設計に従事
1983年10月1日より紀北工業高等学校 機械科 勤務

高校時代から「ものづくり」に惹かれ、工業高校に勤務後は、
1984年より、エンジンエコランに参加、

紀北工業高等学校では、

1994年より、ソーラーカー、EVエコラン、ロボット相撲、
ロボット競技、活動を行う。

2007年度 大阪産業大学

藤田研究室(カーボンについての研究)

2014年度 和歌山大学協働教育センタークリエ

平成26年度クリエ長期社会体験研修教員

ものづくり指導教員

定員：50名

場所：L104(教育学部講義棟)

講師：藪下能男先生

和歌山県立紀北工業高校教員

申込み7月31日(日)まで

